

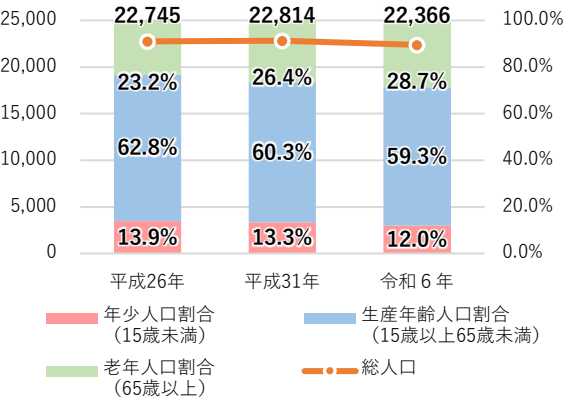
防災都市づくりの取組内容

富丘地域

【地域特性】

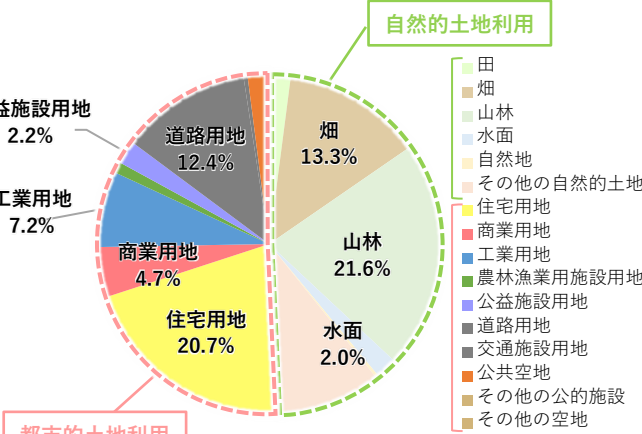
富丘地域は、富士宮第四中学校の学区を地域とし、中央部を潤井川が流れ、地域の東部から南部にかけて市街化区域で構成されています。

【人口動向】



出典：富士宮市住民基本台帳（各年1月1日調査）

【土地利用現況】



出典：平成28年都市計画基礎調査

【避難場所】

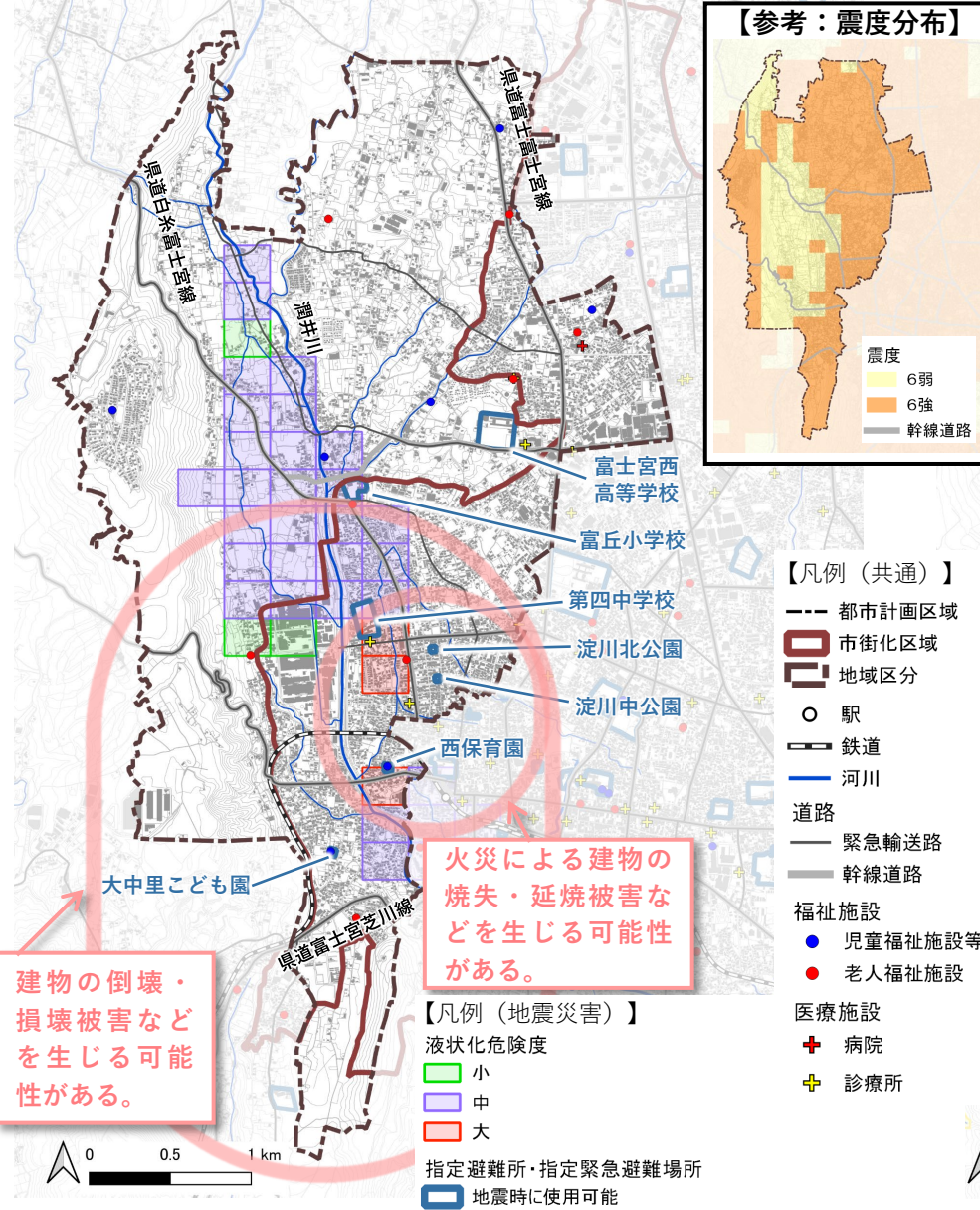
避難場所	種別	対応災害		
		地震	洪水	土砂
第四中学校	指定緊急避難場所 （指定避難所を兼ねる）	○	○	○
富丘小学校		○	-	-
富士宮西高等学校		○	-	-
西保育園	指定緊急避難場所	○	-	-
淀川北公園		○	-	-
淀川中公園		○	-	-
大中里こども園		○	-	-
富丘交流センター		-	○	○

【災害危険性と取組内容】

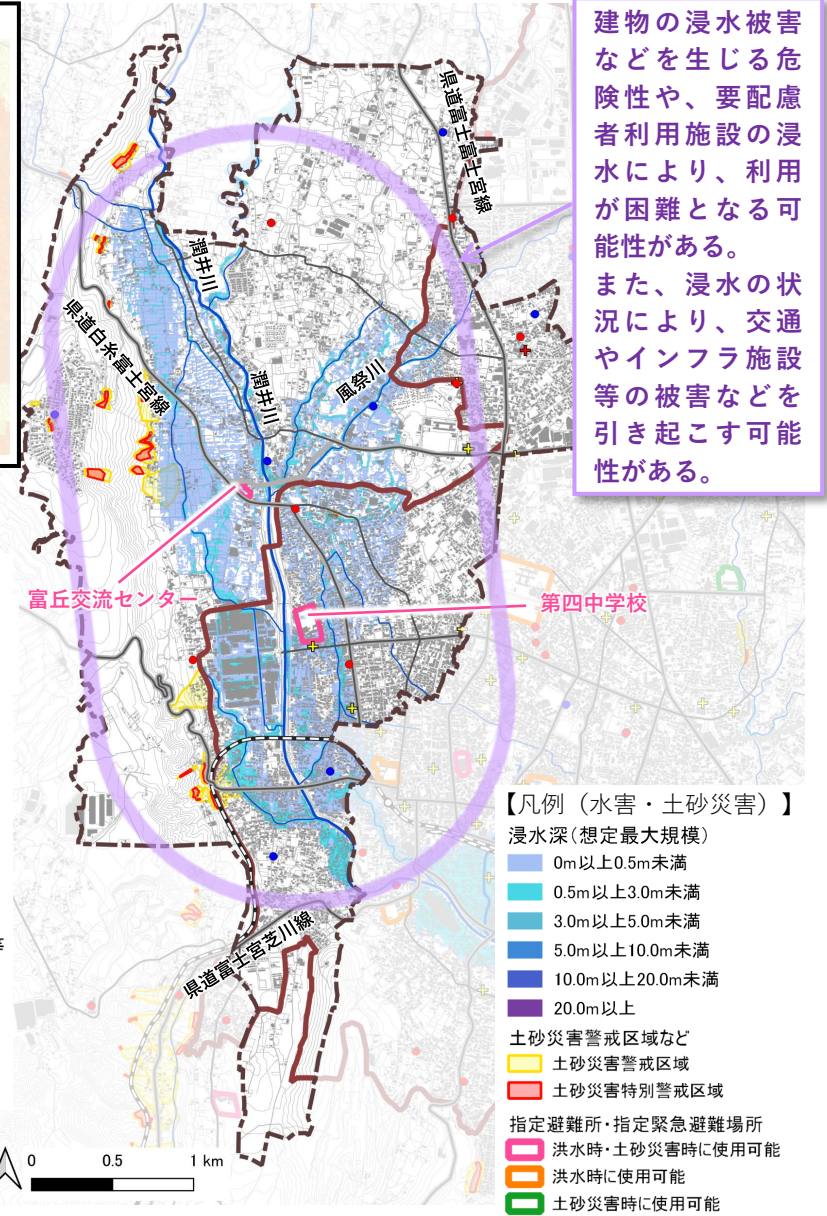
富丘地域は地震災害、水害及び土砂災害による災害危険性があり、地域内には広く建築物が分布しているため、地域全域において建築物の安全性の確保や避難しやすい環境の形成などの取組を推進していきます。

地震災害	ハザードの存在	災害危険性	取組内容
	地域全体的に震度6弱以上で、地域中北部の一部を除き震度6強が広範囲に分布している。	建物の倒壊・損壊や人的被害を生じる可能性がある。	・空き家の除却の促進 ・建築物の耐震性向上、建替え ・建物密集地におけるオープンスペースの確保、避難しやすい環境整備
	また、地域中央部などの一部に液状化可能性（大・中・小）の範囲が分布している。	火災による建物の焼失・延焼や人的被害を生じる可能性がある。	・建築物の不燃化 ・空き家の除却の促進 ・建物密集地におけるオープンスペースの確保、避難しやすい環境整備
		緊急輸送路の被災などによる道路不通時には、救急・物資輸送・復旧活動などが停滞する可能性がある。	・緊急輸送路の整備、橋梁などの耐震性向上 ・沿道建築物の耐震性向上、狭あい道路の拡幅 ・各人の避難計画の検討
		道路不通により、市民が住宅などに留まり続ける可能性がある。	・飲料水・食料などの適切な備蓄
		避難施設が倒壊などにより活用できない可能性がある。	・避難施設の耐震性の確認・向上
水害		避難施設が遠い場合には、迅速に避難できない可能性がある。	・身近な一時避難場所の確保 ・避難体制、高齢者などの避難支援
土砂災害			

■地震災害に関する危険性（富丘地域）



■水害・土砂災害に関する危険性（富丘地域）



ハザードの存在	災害危険性	取組内容
水害	建物の浸水被害を生じる危険性がある。	・気象情報の入手、各人の避難計画の検討、浸水前等の早い段階での避難 ・浸水対策の検討・整備
	浸水の状況により、交通やインフラ施設等の被害などを引き起こす可能性がある。	・浸水前等の早い段階での避難 ・各人の避難計画の検討 ・避難方法（垂直避難含む）の周知 ・浸水対策の検討・整備
	避難施設が遠い場合には、迅速に避難できない可能性がある。	・気象情報の入手、各人の避難計画の検討、浸水前等の早い段階での避難 ・避難方法（垂直避難含む）の周知 ・身近な一時避難場所の確保 ・避難体制、高齢者などの避難支援
土砂災害	要配慮者利用施設の浸水により、利用が困難となる可能性がある。	・水害リスクの周知 ・各事業者の避難計画の検討
	土砂災害警戒区域内や周辺では、建物の損壊被害や人的被害が発生する可能性がある。	・気象情報の入手、各人の避難計画の検討、風雨が強まる前等の早い段階での避難 ・砂防施設・急傾斜地崩壊防止施設の整備 ・住宅移転の検討
	道路が被害を受けた場合、避難できず孤立化する可能性がある。	・風雨が強まる前等の早い段階での避難 ・各人の避難計画の検討 ・避難方法の周知 ・飲料水・食料などの適切な備蓄
	避難施設が遠い場合には、迅速な避難ができず人的被害が発生する可能性がある。	・気象情報の入手、各人の避難計画の検討、風雨が強まる前等の早い段階での避難 ・身近な一時避難場所の確保 ・避難体制、高齢者などの避難支援

この他、避難場所の快適性向上や地域の防災力向上など、各災害に共通する取組も推進していきます。